

## 令和4年度佐賀市食育推進協議会 議事録

### 【開催日時】

令和4年8月1日（月）14時00分～

### 【開催場所】

佐賀市役所 4階 大会議室

### 【出席委員】（順不同、敬称略）

原田洋子、山口勝也、山口由美子、宮澤洋介、宝蔵寺保子、小部素子、柴田匡道、  
中尾めぐみ、伊東悦子、野瀬久美子、古川智恵美、萱島知子、吉開智能、西原和子、  
佐保和彦、下村幸蔵、小副川あつ子、島ノ江未佳、中山裕子、藤山真未

### 【事務局】

古田健康づくり課長、梶原健康推進係長、倉上技師、日浦主事

### 【次第】

1. 開会
2. 健康づくり課長、会長あいさつ
3. 議題
  - (1) 令和4年度の取り組みについて
  - (2) 意見交換
4. 閉会

### 【議事内容】

#### ○事務局（健康づくり課）

皆さんこんにちは。定刻になりましたので令和4年度佐賀市食育推進協議会を始めさせていただきます。本日はご多忙の中、また暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。この会は協議会の会員の皆様、食育の活動につきまして情報共有、意見交換としてこの場を設けさせていただいております。ほかの会員の皆様の取り組み、そういうものを参考に新たな取り組みをはじめられたり、あるいは会員同士の方で一緒に連携して新しいことをしていただく、そういうことに繋がっていけばいいなと思い開催しております。そして市民の皆様にも食育の輪が広がっていけばいいなと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の出席者の皆様のご紹介についてですけれども、お手元のほうに座席表をお配りしていますので、そちらでご確認いただければと思います。またそれぞれ後程ご発言の時間もございますので軽く自己紹介もお願いしたいと思っております。それではまず開会にあたりまして佐賀市健康づくり課長の古田がご挨拶を致します。

(健康づくり課長挨拶)

○事務局（健康づくり課）

続きまして会長の挨拶を会長のほうからお願いしたいと思います。

(会長挨拶)

○事務局（健康づくり課）

ありがとうございました。それでは議事に入りたいと思いますけれども、協議会の要綱第6条の規定によりまして、会長が議長を務めることとなっておりますので会長よろしくお願いします。

○会長

それでは次第に沿って会議を進めてまいります。まず議題1の令和4年度の取り組みについてですが、ここでは会員の皆様の取り組み内容についてそれぞれ紹介していただきたいと思っていますが、その前に市の食育計画が新しく策定されておりますので、まずその説明を事務局からよろしくお願いします。

○事務局（健康づくり課）

(資料1により説明)

○会長

ありがとうございました。続いて会員の皆様から今年度の活動についてご紹介いただきたいと思います。会員の方一人一人に意見をいただきたいと思います。まずNPO法人の方から順にお願いいたします。

○NPO法人活気会食育部会

今年度は例年どおり行っているお茶の名人になろうということで保育園で煎茶教室を行いたいと思っています。保育園でお茶の入れ方、体験を通してお茶を飲む習慣や、お茶のおもてなしの大切さを理解してもらうということでやっています。白山商店街との共同による11月はバルーン大会の時、3月はひな祭りの時に開催しています。これは佐賀のお茶文化を普及する目的で行っております。日新だんらん茶屋、シュガーロード、ティーポ

ードの出会いということで公民館主催でだんらん茶屋を実施しています。それから護国神社で開催当日に参加される方に煎茶を行います。国際交流プラザで、煎茶教室を行います。佐賀に在住している日本語を学んでいる外国人に対する、やさしい日本語でお茶を入れてみようというテーマで、お茶の淹れ方頂き方の教室をしております。会員研修として、お茶の淹れ方頂き方について体験学習を行うことで、温度の変化による味の違いなどお茶に関する知識や、スキルアップの向上に努めています。ということが活気会の今年度の予定としています。それと直近の取り組みということで、4月13日に護国神社春の大祭でだんらん茶屋や参拝者の方に煎茶を行いました。5月6日にはやさしい日本語でティーパーティーということで佐賀市在住の外国人に対して佐賀のお茶文化、箸文化を伝えています。6月の18日はお茶の淹れ方頂き方の会員研修を行いました。7月はコロナ蔓延のため中止としています。今後の活動に皆様のご協力をお願いいたします。よろしくお願ひします。

#### ○佐賀県歯科衛生士会

佐賀県歯科衛生士会では、このコロナ下ではイベントや行事などをなかなか行えていません。令和4年度になります、今年度11月6日の日に大和ジャスコのスペースをお借りしてがばいハッピーというイベントをやる予定です。ただ従来通りのやり方では難しく、できる範囲で感染対策を取りながら予定をしています。食育に関しては、食べることに必要な歯と口腔内の健康を守ることに力を入れていきたいと考えていますので今後皆様にもご協力よろしくお願ひします。

#### ○佐賀市公民館長会

公民館もやはりコロナ下の中で、皆さんと触れ合うということが難しくなってきていますが、最近は少しづつ利用者も増え、利用回数も増えてきています。またインターネットで公民館を利用できるようになりましたので市民の方も少しづつ増えてきているという状況です。公民館としましては、まずやっぱりあの朝ごはん、食卓をみんなで囲んでいくことが出来たらいいなというので、市民の皆様に公民館を通して、一緒に次世代をつなぐ持続可能な食生活を伝えていければと思っています。各公民館では少しづつ食育、高齢者から小さい赤ちゃんに取り組む講座が開設されています。少人数ですけれども進めていきたいと思っています。

#### ○佐賀市保育会

佐賀市には数多く保育園ございますけれども、自園の話を少しさせていただきたいと思います。ご家庭で朝食を食べたり、夕ご飯を食べない子も最近また出てきているということで、保育園にいる6年間昼食だけの数少ない食事を、できるだけ子供たちのことを思って守っていきたいと思い、平成25年から本格的に保育に生かしていくように勉強しているところです。コロナの中であり子供たちが黙食ということで皆が同じ方向を向いて食事をしているのを見ると、どうしても楽しくないだろうなとか、食に対して興味が無くなっているような感じがして、調理のほうからも残食が多くなってきているということで材料を減らしたいと聞きましたけども、材料を減ら

さずに子供たちができるだけ一人でも楽しく食べられるように保育園全体でやっていきたいなどやっていたところです。子供たちが本来持つ人間の抵抗力であったり、免疫力を上げるためにはどうしたらいいか職員と話し合ったところ、日本に伝わる発酵食品がとても大事ということで、ここ2年くらい味噌づくりをやったり、子供たちの未来につながることを信じて勉強しているところですので、皆さまからのお話を聞いて生かしていければと思っています。

#### ○佐賀市私立幼稚園認定こども園

自園の紹介ですけれども野菜の苗を植えたり、草取り、収穫を体験することで子供たちが農業に携わる人に対して感謝の気持ちを持つてもらい、ものを育てる大切さや一緒に収穫の喜びを味わったり、コロナでなかなかクッキングができない状況が続いているのですが、できる範囲で料理やおやつ自分たちで作って食べる楽しさや、友達と体験することで、子供たちが食事への関心を深めて食育の推進や健康づくりにつなげているところです。

#### ○佐賀市PTA協議会

佐賀市PTA協議会で一斉に取り組んでいたおにぎり弁当の日を近年は単位PTAで取り組んでいます。また、今年度開催しました女性副会長の研修会のアンケートで、食育に関する講演をしてほしいと要望があり、来年度の取り組みで食育に関する講演をしたいと思っているところです。皆さんもし食育に関して楽しくお話ししていただける講師の先生とかいらっしゃいましたら是非教えてもらいたいと思っています。

#### ○佐賀県学校栄養士会

佐賀市の小学校の取り組みは、食の正しい知識を身につけるということで、学校と家庭、地域の人との連携を大切にしています。保護者様に対しては、給食の試食会や、給食だより、食育だよりなどで情報発信をしています。また、規則正しい食事をするようにも保護者の方に働きかけをしています。早寝早起き朝ごはんができるような子供を目指して、家庭との連携を図っているところです。次に食への感謝と理解を深める、また食材とか地域の理解を深めるということで給食の時間を活用して食事のマナーや、あと食材について子供たちに教えています。具体的には、1日1日の給食の献立の狙いに添った日めくりカレンダーを活用しています。北川副小学校では、6月8日は佐賀の玉ねぎを味わうといって、配膳の仕方とその日の給食の献立に添ったものを電子黒板に投影して、あと給食委員会が放送するようにしています。6月9日は心を込めて食事の挨拶をしています。

#### ○高志館高校

本校では農業高校ということで、園芸科学課では野菜や果物を生産販売しています。近くの保育園との交流もありまして、サツマイモの植え付けから収穫までの体験をしています。食品流通課ではパンや焼き菓子、味噌づくりなどをして、販売までしています。そのほかにも授業を通じて生徒たちは食育を学んでいます。数年前

まで文化祭で保健委員の活動として展示なども行っていましたが、今年度は保健委員が主体となって展示活動を行いたいと思います。

#### ○佐賀大学教育学部

コロナの前はオープンキャンパスで食の講座を開いたり、ほかの職員がムツゴロウを解剖して食べるといった講座を学外にむけて開いていたのですが、現在コロナの状況を見ながらそういった講座は開けていない状況です。大学では教員志望の学生に授業をする際に生活の中での食の大切さや正しい知識を実践を含めて教えています。また、市や県、国の食育活動の取り組みや、方法を紹介して直接的な食育活動はしていないのですが学校現場で食の指導ができる力を教員志望の学生に身につけさせたいと思っています。

#### ○佐賀県ヤクルト販売株式会社

弊社の取り組みについてお話をさせていただければと思います。佐賀県一連の販売事業も行っているのですが食育のお手伝いといったところで、弊社ならではの、食べたものがどうなっていくのか、出たものというところから食育について考えていただければというようなお話、つまりウンチ育教室についての話をさせていただいている。対象者ですけれども、小さいお子様からご高齢の方まで公民館等でさせていただいたり、あと保育参観ですか、保育園の園児様に向けてなどその他の対象者にお話をさせていただいている。主に私が教育関係の広報を担当していますので、その取り組みについてご案内をさせていただければと思っているのですけど、特に今力を入れていますのが夏休みの学童様へのお話といったところで、お話をさせていただいている。どうしても学校給食が無くなってしまふと、食生活が乱れてしまったり、朝ごはんを食べてないといったこともございますので、そういう児童クラブの皆様向けに弊社スタッフのほうがお伺いさせていただきまして、ウンチの話をさせていただいている。学校栄養士の先生のほうからもご案内ありましたけど、佐賀県では、早寝早起き朝ご飯を推奨されていると思うのですけれども、弊社はそれになぞらえて早寝早起き朝ごはん朝ウンチといったところで、しっかりウンチを見ていただいて、実は皆さん正しいウンチの見方とかご存知ですか。水に浮くか沈むかで食生活の振り返りが出来たり、においや色を見るだけで自分の腸内環境もわかってきますので、そういうお話を主に無償でさせていただいております。もっと食育に力を入れようという会社の理念のもと、今管理栄養士のほうが4名在籍しております。まだまだどういう風に企業としてお手伝いができるかといったところまでは進んでいっていない状況ですので教えていただければと思っております。

#### ○佐賀中部保健福祉事務所

保健福祉事務所ではコロナ対応でここ数年活動というものが出来ておりません。県の取り組みとして令和元年度から佐賀健康維新県民運動ということで、県民の健康寿命の延伸を目的として運動だったり、食、歯と口の健康とたばこ対策など総合計画の中で取り組んでいます。食と健康については、昨年度から絵本を作つて、いただきますは野菜からといった、まず子供さんに野菜に注目していただきたいということで、絵本を作つて小

学校等に配布させていただいている。そのキャラクターで、スーパーの野菜売り場のイベントをやっているところです。なかなか市民の皆さんと直接に色々な指導をする機会というのができない中で県民の野菜接種量が少なくなっている中、野菜に注目して、まずは子供さんに食卓の中で野菜を見つけてみよう、そこから食べようというところに、やっぱり野菜が必要なのだとご理解していただきたいなと思っているところです。あと、高齢者の方に対しては、配食弁当とかの情報を集めた情報提供もしていくところです。保健福祉事務所としては中々活動ができないのですけれども、県としてそのような取り組みをしておりますのでここで紹介させていただきました。

#### ○佐賀県くらしの安全安心課

佐賀県くらしの安全安心課では、食で育む生きる力という委託事業を行っております。令和3年度は食育ヤマシロンショーというものをしていまして、ヒーローショーで子供たちや大人の方まで広い世代の方にショーを見に来てもらっています。あとFM 佐賀とコラボして、ラジオ CM ですか、フリーペーパーの広告を掲載したりしています。令和4年度に関しましても、FM 佐賀と委託事業をする予定にしていまして、映画も「弁当の日」という映画を上映させていただく予定です。また、ラジオ CM や、講師派遣事業といったこともしております。講師派遣事業は九州大学の比良松先生をお呼びして、佐賀県内の小学校中学校高校、保育園などで食育に関する講演を行っていただいている。とても好評ですので是非ほかの小学校中学校高校、保育園さらに比良松先生の講演を聞いていただきたいと思っています。

#### ○佐賀市薬剤師会

薬剤師会として、食育に関してといった直接ではないですが施設環境整備のサポートというような形で関わらせていただいている。一応大学以外の学校、認定こども園を含み、小学校中学校高校、特別支援学校に必ず学校薬剤師というものがおります。そこで、小学校は各学校に給食室があり一学期に一回給食室の衛生検査をします。中学校の給食を作っている久保泉の中部給食センターにも一学期に一回施設整備の定期検査を行っています。異物混入とか起こらないように未然に防ぐということで、そういう検査を行っています。それと一年に一回学校で学校保健会というのがあります。給食安全委員会というのも一緒にありますので、それにも参加させていただいている。それと市民糖尿病教室のときには尿糖検査を行っています。それと講師としての活動もしています。以上です。

#### ○佐賀市農産物直売所加工所連絡協議会

「さがんパワー倶楽部」という形で活動しています。この資料2の6ページにあるふるさと自慢教室ということを実際やったりしています。ふるさと自慢教室をメインに食育等やっているわけですが、今年度に関しては、7月に予定していましたけど、コロナ下ということで中止となっています。また12月に行う予定でその時に餅つきなどをしながら佐賀市の広報誌あたりで募集を呼びかけて、定員は少なくなっておりますが佐賀市の農産物を使っ

て料理、あと農家の女性の人たちが文化的に親から子と教えてやれるような漬物などの郷土料理を一般の参加者に指導していきたいと思っているところです。私も農家でありますし、さがんパワー俱楽部は直売所の協議会で、南は諸富の道の駅、三瀬の農産物、三瀬の加工所あたりにメンバーでいまして、農業分野ではとても深い知識があると思っています。佐賀市に関しても、玉ねぎ一個に関しても、いろんな種類があるということ、もししくは作り方がどういったものかというのも皆さんに説明できるような深い知識があると思っているところで、言葉足らずではありますが、食育に関して子供たちがいい成長ができるように連携できたらと思っていますので、よろしくお願いします。

#### ○森の香菖蒲ご膳

菖蒲ご膳は、その時期にしかない旬の山野菜を味わっていただいて、季節感を感じて頂こうという食事の提供がモットーです。今年の初夏ですけどノカンゾウ、ヤブカンゾウの花が野山で非常に多かったです。カンゾウの花が豊作ねと言って、毎日毎朝私が花摘みをやっていまして、カンゾウの花は鉄分を豊富に含んだ花です。貧血ぎみのお客様にそういう話題を出して喜んでいただくとか、来週ぐらいから秋の七草のくずの花が食材として出てきます。くずの花を集めたら、ミントみたいなさわやかな香りがするのです。この花にはイソフラボンが含まれていて、美肌、美容にいいですよと話をしながらお召し上がりいただいているのが菖蒲ご膳です。最近の状況ですけど、まずうちの地域貢献事業の一つとしてもう10年ぐらい取り組んでいます、小学3年生を招いての郊外での食育学習会、これをコロナ下の中でも令和3年10月6日に何とか開催する事が出来ました。この事業は小学3年生に朝から菖蒲ご膳に来ていただいて菖蒲ご膳周辺を散策して、植物とか、食材になるアザミとかがあったらとてくると、その後菖蒲ご膳に行って菖蒲ご膳の伝統料理、伝統の食生活といった形とかまた、山菜についてのお話を聞いてそういうものを使った料理を召し上がっていただいて、そのあといろんな意見を子供たちから聞かせてもらうような施策でもう10年以上いつも毎回子供たちの反省の言葉を聞いたらものすごく面白い、そういう考え方があるのだというのを聞かせてもらっています。今年もできましたというのと、今年度も10月にやるということで、学校と計画中です。それから、去年ぐらいから旅行代理店とか観光庁のかたから、旅行とか山菜歩きと食事をセットにした企画ができるかという話がきています。野外キャンプが盛況という風な部分と関連があるのかなと思いますけれど、うちとしても食材の生態を感じていただくいい機会かなと思って実際やっていますけれども山菜狩りイコールうちの山菜が無くなるというのにつながるわけです。今私たちがやっているのが、専用の山歩きのコースを開発して、そのコースの中に山菜を入れて栽培していくというのを考えていきたいと思ってやっています。それから菖蒲ご膳の食事の中で漬物が好評だったということで、6次化産業にむけて菖蒲地区の特産品であります菊芋を2,5トン栽培していますけれどもそれを使った味噌粕漬を商品化していました。

#### ○道の駅大和そよ風館

そよ風館はさがんパワーさんと一緒に活動させていただいている。菖蒲ご膳さんの味噌粕漬もそよかぜ館の中販売させていただいている。そよ風館のほうもイベントというものがコロナ下で出来ておりません。新しい取り組みというのではないのですが、引き続き学校給食への食材の搬入をさせていただくというのをはじめ、また農作物の直売所として生産者と消費者との間の一番近い距離で販売させていただくという私たちの仕事柄、先ほどの菊芋も血糖値を下げるなど、アンチエイジングという言葉に私たちも気になつたり、そういうのによかったら買ってみようと思えるような販売をさせていただいている。皆さん子供から大人まで、食育というのはやはり生産者が一生懸命汗水たらして出来上がった野菜とかお米を購入していただくにあたり、私たちの役目はそれをどういう形で販売していくかが大切であり、栄養面でどういう風に効果があるのかを子供たちに教えていく、また一人で朝ごはんとかを食べないように家庭と一緒に食べてあげて、食べ物の栄養を見て親が作ってあげることが食育の基礎、過程であると感じているところです。家庭の輪がまずは一番であり、各部署からご意見いただきまして、皆様の力で、子供たちが食育に関することを自分で勉強していくのではないかと思いました。

#### ○イオンモール佐賀大和

イオンに、大きいショッピングセンターがございまして弊社として大きく2点食育という観点で取り組みをさせていただいております。まず一点目としては、食品廃棄を本年度、昨年度よりも半減というところを会社の方針として掲げていて、具体的に申し上げますと、お惣菜を販売するにあたっても計画の精度を上げるということもあるんですが、今までの半分の容量でより手に取りやすく、食べやすい容量というところを目指してやっています。あとAIの力を借りて、販売予測をするとこういったアナログとデジタルの力両方を使って食品廃棄の半減に努めているところです。またもう一点は大きく言うと場の提供をさせていただいております。具体的な例を申し上げますと先月になりますが、観光協会さんと協力させていただいて、佐賀のシュガーロードフェアということで西九州新幹線の開通に合わせて佐賀市付近中心にその近郊のお菓子をお客様にご紹介差し上げながらアンケート形式で地産地消についてとか、あともう一つは今年の9月に実施するのですが、サステナウイークというタイトルで SDGsに絡むような地産地消の商品を各企業のご協力を得ながらお客様にご紹介差し上げるといった、イオンとしてはまず場の提供をしながらお客様に対して商売をさせていただきお客様に食育とか、地元に目を向けて頂けるという大きく言うと三方よしという視点で取り組みをさせていただいている。場の提供というところは、市内でも有数の大きさをもつていてショッピングセンターですので、お声掛けいただければ話は進めていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

#### ○佐賀県有明海漁業協同組合

今年19年連続で日本一の生産量と販売額ということで、おいしい佐賀の海苔を今平成22年度から県下の全小学校に2月6日の海苔の日にプレゼントするといった取り組みを行っています。その、おいしい佐賀の海苔をまず地元の子供達に食べてもらいたいというのが大きな目的であって中々子供さんを含めて、佐賀が日

本一の海苔どころというのを知らない方が結構いらっしゃって、そういったところも含めて皆さんに知ってもらう、小さいところからおいしいものを食べてもらって大人になっても、海苔ってこんなに美味しいと思いたしてもらえばと始め、もう10年ほど経つんですけど、ここ最近コロナで、毎年贈呈式を県下の小学校一校ずつでさせていただいているんですけど、うち組合長とともに含めてその時に子供たちと一緒に給食を食べて、子供たちと一緒に海苔おいしいね、などといった会話をさせていただいたり、ふれあいをさせていただいてたんですけど、コロナ下でなかなか出来なくなったりもあって、去年は贈呈式自体もできなくて、今どきのウェブで贈呈式をやったというところもありながら続けていきたいと取り組みを実施しています。また、佐賀市の水産振興協議会をやっておりまして、その中で市内の保育園や幼稚園、中学校に初摘みの海苔をプレゼントしたり、といった取り組みを行ったり、あとは初摘み海苔ができたときにマリトピアとかで新海苔が取れましたと味わっていただく、今は妊婦さんとかにも来ていただいて、海苔には葉酸が多く含まれているとか栄養素など含めて皆さんにも素材の良さを知っていただく、また講習会を漁期前にやっているんですけど、ごみを海苔に入れないあと生産者と一緒に年に一回海岸清掃を行ったり、海面に浮かんだごみを回収する作業、結構最近海洋プラスチックの問題も結構あると思いますけどそういうことを行いながら、生産者もこういった努力をしながら、消費者に対して安心安全な海苔を届けようといった責任をもって漁業者も一体となってやっているところです。

#### ○古湯温泉旅館

古湯温泉で大和屋という小さな旅館をやっております。これは今日初めて貰ってきた三瀬のりんごです。今年の10月からオール佐賀のドレッシングをもう20年程手作りのドレッシングを出していまして、それを経済産業省から補助金をもらってさせてもらって、駐車場に工房を作ってウサギのごちそうというドレッシング屋さんを始めます。これはほぼ富士町と大和町で作ってらっしゃるフルーツです。今日は専門のかたもいらっしゃるので、ご存知の方も多いと思います。9月まではリンゴが採れないと農家さんから言われていたので、リンゴは長野産を使いながらやっていました。お客様の70パーセントが福岡県から来られていますので、その方々に佐賀の第一次産業の素晴らしさというのをいつも伝えていて、お米は富士町産の100%といっていますし、県内に120件くらいある温泉旅館の海苔を佐賀産を出さないのは怠慢じゃないですかというのを組合で話していました。皆さんも旅館に行かれると朝食で海苔が出てくると思うんですけど、私たちは20年海苔師さんたちと富士町で活動をやっているので勉強したので今は40件くらいの旅館さんが佐賀のおいしい海苔を8切れの焼きのりで3枚入りで食べいただいている。佐賀の第1次産業の町で、第2次産業第3次産業が手を抜くと、せっかくの佐賀の良さが無くなってしまうことをかんがみながら、絶対自分の現場、組織で生かすような会にしてもらいたいな、そういう風に思っています。だから自分はこういうことをやっているからこういう提案、アドバイスをいただきたい、また行政の方もすごく情報を持ってらっしゃいますので、皆さんに相談をされて、こういう現場で情報交換をされていったらいいのではないかと思います。こういう仕事の付き合い、そしてプライベートの付き合い、いろんな方がい

らっしゃったりしてこの町が活気づくと思うのですよ。今日はブルーベリーを持ってきています。今日は諸富の完熟メロンを、うちは毎年使っているのですけど、諸富のメロン、川副のイチゴ、大和町のそよ風館さんで買うのは、柿をもらって、温州ミカン、これもおいしいミカンの産地があるのでドレッシングで毎年出しているのです。県外のお客さんの20パーセントから25パーセントのお客さんがこのドレッシングを買って帰りたいといわれて、今度は商品化をするはこびになった次第です。これも農業振興課さんにいろんなアドバイスいただいて、前回アルタさんがいらっしゃったと思うんですけど、アルタさんにドラゴンフルーツがあつたらドラゴンフルーツで作りますし、何でもいいんですよ、うち胡蝶蘭風呂とバラ風呂があって、旅館の貸切風呂で胡蝶蘭風呂とバラ風呂をやっているのですね。バラ風呂は私からオファーしたバラ農家さんに佐賀に全国で一番になつたしま薔薇園さんがあって、それをやってると今日富士町に胡蝶蘭を作ってる農家さんがいらっしゃるので電話がかかってきて農家さんから、バラ風呂もよかばってん、胡蝶蘭ば風呂に入れてみらんね、そういう元気な農家さんがオファーをかけてくるこういうキャッチボールができる会議もしくは組織作りっていうのが佐賀市の活性化につながると思うので、紹介だけで終わるのではなく一緒にこういうことやりませんかなどとお声掛けをしていただいたら、この会が2倍、3倍、5倍、10倍魅力ある会になりますし、それはすべて佐賀市の前進になると思いますのでこれからもこの会と一緒に歩けたらいいなと思いますのでよろしくお願ひします。佐賀の農業は素晴らしい、第1次産業素晴らしいと思います。第3次産業をしっかり支えていかなくてはいけないと思いますので、いろんな知恵を拝借ができればと思います。

#### ○会長

素敵なお話を本当にありがとうございました。この会議で意見をいうだけではなく、私はこの話をしたいから、どこにつないで、どこにお願いしようかといつも考えて会議にも出ています。私の食生活改善推進協議会は令和4年度は約200回の伝達会という講話と、メタボリックシンドロームを予防しようというテーマで、今年は調理実習ができるようになり、調理実習、試食ということで200回佐賀市内でしております。その中には親子料理教室、男性料理教室、本当に公民館にはお世話になっています。全公民館でやっていますのでよろしくお願ひします。そして広めていかなければならない、やっぱり止めてはいけないと思うんですよね。少しづつでもしていかないと続かないと思うので、皆さんどうぞ助けていただければと思います。

#### ○農業振興課地産地消推進係

私たちは地産地消を推進するために、地産地消推進係という係で一生懸命頑張っています。私たちは主に市民対象に農業イベントを開催しています。コロナ下でも前向きに取り組みたいと思って、リンゴの収穫体験をしたりしています。お子様からご年配までを対象とした有機農業研修や、街中であまり農業に触れる機会のない方を対象にした、街なか体験農園という農業体験を月に1回集まって、夏野菜や冬野菜を1から育ててみようといった農業体験をしております。佐賀市の新米をどのように作られているのか、どのような品種が作られて

いるのか、どうやって収穫されているのかというのを、佐賀市内のあまり農業をする機会のない小学校を対象に農家さんを招いて授業をさせていただいて、一緒に調理実習といいますかお米を炊くところからさせていただいて、佐賀市の農産物等を使った味噌汁と一緒に食べるという実習を今年も企画中であります。コロナ下ということもあり今年はできるだけ開催していこうという方針です。

#### ○環境部循環型社会推進課

循環型社会推進課は、清掃工場のところに事務所を構えていまして、今回食育ということで食品ロス削減についての活動の報告をさせていただきたいと思います。循環型社会推進課のほうは、食品ロス削減ということで出前講座を開いて講座の依頼があったところにお話をするったり、会議室を利用される事業所に食品ロス削減に関する講話をさせていただいております。10月に食品ロス削減月間ということで、そこに合わせて昨年度はFMラジオに関する広報だったり、今年度は食品ロス削減につながるようなアプリの導入を検討しています。ごみ処理の関係の部署ということなので、食育と直接関わることは少ないと感じていますが、うまく連携ができると思います。

#### ○生活安全課

生活安全課の中に消費生活センターがございまして、そちらから参りました。消費生活センターは、消費生活におけるトラブルの相談の受付をさせていただいたり、トラブル防止の啓発活動を行っています。正しい消費行動を育てるために、佐賀大学と連携いたしまして、佐賀大学公開講座を行っています。今年度は9月に予定していますが講師に佐賀大学経済学部の岩本先生をお招きしてお願いする予定になっています。内容については、景品表示法ですか賞味期限などの食品表示法やトレーサビリティー、食品添加物についての講義を予定させていただいている。定員は条件で30名となっています。また、毎年消費生活フェアというもの行っています、来年の3月に市立図書館で計画をさせていただいている。その中で、佐賀大学経済学部の出店による展示を行っています。昨年度は、食品ロスについての展示をされていまして、市や県、企業の取り組みを紹介していただき、その中で食品ロスについて考えていただくような内容になっております。昨年度は256名の方に入場していただきました。

#### ○教育委員会学事課

学事課は学校給食の担当をしていまして、給食の食材を提供していただいたり、また、給食室が安全安心で運営できるようにご協力いただいたり、いろんな方たちの支えによって学校給食が安全で安心、またおいしい給食ができるのが、皆様のおかげだと改めて思いまして本当に心より感謝申し上げます。教育委員会学事課といたしましては、学校給食食材の地場産導入ということで、これは毎年行っています。具体的に言いますと、探してみよう佐賀の野菜と取組ということで、学期ごとに、野菜に重点を置いて使うと定めまして、それを栄養士の先生の皆さんから献立にたくさん取り入れてもらおうということで取り組みをしています。また、納入組合連合

会で、旬の野菜とか今の時期だったらこういう野菜がいいとか、特に給食ですので、できるだけ安く食材を提供していただく情報交換をしながら、学校の栄養士の先生方と取組をしていただいているところです。また、下のほうに書いてありますが、ふるさと献立もできる限りしていただくこととなっています。ふるさと献立といいますと、地元の野菜を使った料理でしたり、そういうものを含めて取り組みをしていただいているところです。なるべく地元の野菜を子供たちに知ってもらいたいのもありますし、それだけ佐賀のものはおいしいというのを伝えていければなと思っております。今回給食といいますと、地産地消とはちょっと違うかもしれませんけど、今度国民スポーツ大会が佐賀であります。来年は鹿児島ということで、まあ鹿児島のほうから譲ってもらったということで、佐賀と鹿児島で大きいスポーツ大会をしようかと意見がかかっておりまして、それを何か学校給食でも活かせないかということで相談があり、鹿児島県と佐賀県で、特産物でご当地メニューをお互い献立を交換してできないかとなっています。佐賀ではいわゆるB級グルメになってきますシシリアンライスをつくって牛肉を鹿児島のほうへ、鹿児島からは黒豚が有名ということで、豚肉を佐賀のほうに提供してもらう、そして豚バラ丼というのを10月に取り組む予定です。おいしいものをできれば安く提供していただければいいなと思っていますし、といったものができるように取り組んでいきたいと考えています。

#### ○保育幼稚園課

内容としましては昨年度と同様になるのですけど、資料の2の3ページに取り組み書いております、保育園幼稚園に出向いて食育の活動をさせていただいている。その中の内容としまして、いただきますとかごちそうさまの意味でしたり、よく噛んで食べることの大切さだったり、食生活と朝ごはんの大切さについての話だったりを、園に向けて話をさせていただいている。それと食育だよりの配布を年に3回程度情報提供のほうで園の取り組みなどをご紹介させていただいている。また、エスプラツの子育て支援センター「ゆめ・ぱけっと」で乳幼児に向けての栄養相談、離乳食相談等の講話や講演会を開いています。離乳食相談のお話をさせていただいたり、支援サポートでの登録講習会など栄養相談の講演会などを開いています。あと保育園とかに、子育てサロンの依頼がありましたら、保護者に向けてのおやつの話とか、バランスの良い食事のお話などをさせていただいている。今日この会に初めて参加させていただいて、佐賀のおいしい食材だったり、生産者の方や販売の方たちの話を聞いて、まだまだ自分も情報が未熟なので、色々情報提供をいただけたらなと思っています。

#### ○公民館支援課

資料の2のほうで8ページから9ページにかけて各公民館で今年度開催予定をしています、講座のほう全部で21講座になりますが、挙げさせていただいている。諸富の公民館のほうでは、環境の緑化とコラボをしたような講座を企画されていまして、園芸のほうで植えていくのですけど、そのなかにブロッコリーを植えよう、そしてそのブロッコリーを収穫して最後料理教室をするような、先ほどのSDGsだったり、環境問題だったり、食と絡めながらリンクができるような講座を企画したりしています。いろんなサークルが自分たちで自立して公民館でのサー

クルとして自分たちで活動されている分もありますので公民館としては、食育のご協力をいただきながらさせていただいている。あと、個人的なことですが、本当にわたしも佐賀の海苔大好きで、海苔の活用で、ポテトチップスに佐賀海苔が入ったときずっと食べていたように海苔大好きなんです。ぜひ、コンビニとかと提供できるのであれば、うち昔からチーズと海苔でサンドイッチしていて、チーズと海苔あうのでは是非してほしいなと思います。

#### ○イオンモール佐賀大和

ありがとうございます。乳製品と海苔って合うっていうところで、今巻きずしとかする時も、巻きずしの中にチーズを入れてというのとかもよく前からさせていただいていて、結局東京のほうでも喫茶店とかでトーストにバターを塗って海苔を真ん中に挟んで出されているというのも昔からあるみたいで、せっかくお話をいただいたので、何かイベントとか、コンビニとかの話もありましたけど、機会がありましたら是非参考にさせていただきたいと思います。

#### ○公民館支援課

ぜひ楽しみにしています。

#### ○高齢福祉課

高齢福祉課のほうでは、毎年9月の敬老の日にその年度末に100歳以上になる方が何人いらっしゃるか統計をとります。令和4年3月末は280名、毎年とりますので、その1年前の年の統計を見たときは249名ですから、今年度末はきっと300を超すのではないかと思っているところです。高齢福祉課のほうでは、課名のとおり、高齢者の皆さんのがいかに幸せに、そして私が所属しているのが介護予防係、いつまでも元気で過ごしていただけるようにということで様々な介護予防の教室を担当させていただいている。介護予防を考えるときに、様々な教室を実施するうえで、運動だけの取り組みでは健康寿命の延伸はできません。今日皆様の取り組みでも多々出ていますとおり、今日歯科衛生士さんも来ていただいていますけど、まずはしっかり食べるためのお口づくり、そしてどういったものをとっていくのか、高齢者さんのお体にとっていいのかという風な栄養に関するお話をや個別指導のほうを各教室のほうで実施させていただいている。今日配布をさせていただいている、資料2の3ページ、一番上に高齢福祉課の取り組みがございますけれども、元気アップ教室ということで、地域で行うような教室や、送迎付きで行う教室、また街中の会場を使って行う教室など様々な教室を行っています。今後も運動器機能向上だけでなく、栄養改善、口腔機能の向上ということで、複合的に元気な100歳を佐賀市民の方が迎えていただけるように取組の強化をしたいと思っています。ちなみに個人的な分になるのですが私も佐賀海苔味のポテトチップス、子供と一緒に発表記者会見のほうに押しかけて食べておりました。その他のサンドイッチの話も知らなかつたので、色々な海苔の活用があるのだなどおもって、海苔以外にも様々な佐賀の名産について知ることが出来たのでとても学びが多い機会だなと思いました。

#### ○健康づくり課

資料2の1、2ページの健康づくり課の取り組み計画を説明します。まず、食の健康教室伝達会をヘルスメ

イトさんに委託して実施をしています。これは生活習慣病を予防する健康レシピの普及を図る取組で、小学校区単位で年間200回程度開催する予定としております。また地域における食生活改善の中心的存在であられるヘルスマイトの養成をする講座の開催や、ヘルスマイトになった後のスキルアップを図るために卒後教室の開催も行う予定としています。その他、幼児セミナーでの離乳食に関する講話や、幼児健診時の栄養指導の実施、成人に対しても健診結果に基づく生活習慣改善のための保健指導などを実施しています。普及啓発としましては、市報や情報誌、ホームページなどを活用し食育月間に合わせた広報や、ヘルシーレシピの紹介、小学5年生への食育計画概要版の配布などを行うこととしております。

#### ○会長

ありがとうございました。次に議題2の意見交換に移ります。先ほど皆様からご紹介のあった活動や、それ以外のことでも結構ですのでご質問ご意見などありましたらどうぞ。何かありませんでしょうか。皆さんよろしいでしょうか。議事は以上で終了しますので事務局にお返しいたします。皆様ご協力ありがとうございました。

#### ○事務局

皆さまお疲れ様でした。本日は出席いただいた会員の皆様取り組みをお聞かせいただきまして、わたくしどもはもちろんんですけど、会員の皆様においても参考になったのではないかなと思っています。今日会長、副会長も言われましたけど、この協議会を通じた横のつながり、そういうところをつくっていただけるようになれば、この協議会もよくなっていくのではないかと思っています。それでは以上を持ちまして令和4年度の佐賀市食育推進協議会のほうを終わらせていただきます。皆様お疲れ様でした。